

ひろばドリーム

発行番号 No. 322号
発行日 2020年12月15日
編集発行 県ドリームハイツ自治会 広報部
連絡先 TEL:045-851-2596
E-mail: kdreamj-1@woody.ocn.ne.jp

ドリームハイツ作品展 開催しました!

今年はコロナ禍で夏祭りをはじめ自治会活動の主要な行事が中止や縮小して行われているなか、ドリームフェスタでも演芸・フリーマーケット・抽選会を中止しました。作品展開催には慎重な意見もありましたが、3密を避ければ可能ではないか云う意見も多く、感染予防対策を行って開催することとなりました。今までの経緯を考慮して、今年は作品出展者代表5名と自治会役員4名で運営委員会を発足させ、展示ボードの作成・設置・片付け及び期間中の受付等協力体制で行うことができました。

作品は4グループ、個人8名の方が出展され、どれも日頃の努力の成果、素晴らしい力作ばかりで、来場者された方も感動されていました。また多数の方にご来場頂き、誠にありがとうございました。

ドリームハイツは色々な趣味や技術をお持ちの方が多くおられると思いますので、今後も奮って作品を出展して頂きたいと思います。作品展については運営委員会を早期に立ち上げ、来場者が今までとは違った形で参加できる企画を考えることができれば、一層楽しくできるのではないかと思います。最後に作品展にご協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

<文化青少年部長 佐藤 隆>



今回作品展を開いていただき感謝しております。たくさんの方と作品について話ができて嬉しかったです。作品につきましては多くの方が魅力的だと感じられる絵を選び絵に合う題名を探すのに苦労しました。私は人物画を得意としていて今回7枚を展示させていただき自分自身も満足しております。

人物画は喜怒哀楽の表現でストレートに見てくれている相手に感情を伝えることができ自己満足しております。毎回感心するのはドリームハイツに多くの才能を持った方々がいるのにビックリしております。来年も共にガンバリましょう。

<実行委員 鈴木 英雄>



《自治会会則・細則改定検討特別委員会の報告》

もしも、このドリームハイツに 自治会がなかったら…???!

- *ゴミ出しのルールも成り立たないかもしれない…
- *回覧板やポスターなどで地域や行政からの情報も入りにくいかもしれない…
- *防犯防災に危険があっても、何も手が打てないかもしれない…
- *行事や催しを通じた、住民同士の交流が持ちにくいかもしれない…

ハイツが始まった当初、こんなドリームハイツにはいけないと、当時の方々が自治会を発足させてきた歴史がハイツにはあります。

しかし今、住民の構成も当時とはだいぶ変わってきました。それに伴って今までと同じ自治会の運営では無理が出てくるようになりました。

委員会では将来にわたり自治会を継続していくためにはどうしたらいいかを協議し、会則・細則を見直してきました。以上の結論として12月の幹事会には会則・細則について主に下記のような提案をすることになりました。

- ① (変更)第10条 役員任期を1年任期から2年任期にし、半数棟ごとに改選する。
- ② (変更)第10条 役員再任任期を最長6年から10年にする。
- ③ (追加)第23条 大災害或いは大規模疫病発生時の総会について。他

詳細は幹事会や4月の定時総会時にお知らせいたします。皆様のご理解ご承認を得られることを切に希望いたします。
〈自治会事務局〉

地震・火災体験ツアーに参加しました！

家庭防災員として風水害・救急法についての研修、横浜市民防災センターでの防災体験ツアーに参加しました。風水害は、地震と違い突然やってくるわけではなく、事前の準備や備えが災害発生の防止に役立ちます。ぜひ参考にしてください！



- ①検索 マイタイムライン横浜市 →避難計画がたてられます
- ②検索 わいわい防災マップ (ハザードマップ) →自分の家の周りまで確認ができます
- ③情報入手 →戸塚区役所 Twitter、テレビ神奈川 (自動的に発令中の防災関連情報が画面表示されます)

救急法では、「大切な人を守るため」がキーワード。私も地域での AED 講習など積極的に参加し、救急法を身につけたいと思います。

横浜市民防災センターの防災体験ツアーでは、地震、初期消火、煙、減災トレーニングなど様々な体験ができます。

横浜駅から歩いて行ける場所にありますので、いざという時に落ち着いて行動できるよう体験される事をオススメします！
〈家庭防災員 江連優紀〉



減災研修会報告

11月14日10時より第一集会所において、災害対策本部員対象の「減災講習会」が開かれました。まず、今野アドバイザー (日本防災環境) より、本部員の役割についてのお話があり、次に自治会、管理組合、防災隊の各部に分かれ、ほぼ10人ずつで机上訓練を行いました。実際に地震災害が起きたと想定して、

- ① 灯油ストーブが倒れたことによる火災発生
- ② 家具転倒によるけが人発生

という課題に対して、自分たちは何をすべきなのかを意見交換しました。最後に、各部のまとめ発表とアドバイザーの講評があり、実際に災害が起きた時は、各部の連携・協力が重要であることを再認識しました。〈自治会会長 塚本英史〉

環境衛生部より



最近、一般ゴミの日に粗大ゴミを出す人がいます。粗大ゴミは〈粗大ゴミ受付センター〉へ電話し、シールを貼って出さない限り、回収されることはありません。粗大ゴミかどうか不明の場合も電話して確認を！

- ① 粗大ゴミ受付センターに電話し、シールの金額を確認の上、収集日を決める。
TEL: 0570-200-530
- ② 郵便局・コンビニで収集シールを購入
- ③ 収集日当日の朝8時までに、指定場所へ出しておく。
- ④ 見えやすい位置にシールを貼る。



◆資源物売却報告 〈会計より〉

9月 (8月回収資源物分)

品 種	ダンボール	新聞	雑誌	ミルクカートン	古布	アルミ缶
発生量 (kg)	2,560	1,310	6,010	50	710	450
売却金	31,920					4,500

10月 (9月回収資源物分)

発生量 (kg)	1,940	1,330	5,270	40	1,060	330
売却金	10,750					3,300

編集後記

いよいよ師走になりコロナとの闘いに決着がつかないまま、年を越そうとしています。明るいニュースがない中、この紙面だけでも明るくしたいと考えています。せめて色だけでも！皆様、よいお年をお迎えくださいませ。

〈広報部〉